

## 2 研究の実際

### (3) 授業実践（中学1年）

#### ア 指導計画

##### (ア) 題材

「ラドレで、場面に合う日本らしい音楽をつくろう」

##### (イ) 教材

- ・「あんたがたどこさ」「ひらいたひらいた」などの民謡音階で作られているわらべうた
- ・「まんが日本むかし話」より「大蔵と天狗どん」（映像と場面絵）

##### (ウ) 題材とその指導について

本題材は、学習指導要領「A表現（3）創作」の指導事項イに示されている、「表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること」を〔共通事項〕の構成と関わらせて指導する題材である。

身近なわらべうたから音楽の特徴を捉えさせ、民謡音階に用いられている構成音を使って創作活動に取り組みさせる。民謡音階の構成音を使うことで、日本らしい音楽をつくらせることができる。創作の経験が少ない生徒にも取り組みやすいように、民謡音階の構成音の中から、使う音を3音（もしくは5音）に限定する。創作に用いるアルトリコーダーの学習の進度に合わせ、ラドレの3音に限定し、生徒が簡単に創作活動に取り組みめるよう配慮する。

授業展開は、まず、「まんが日本むかし話」のある場面の絵を見て、様子を想像する。次に、絵の中の2人の登場人物のイメージに合う動機を、ペアで分担してつくる。その動機を反復させたり、変化させたり、2人で試行錯誤しながら構成を工夫して、場面に合う日本らしい音楽をつくる。その際、ペアでそれぞれの動機を用いて話し合いながら音楽をつくらせることで、創作の経験が少ない生徒も抵抗なく創作活動に取り組みせることができるようにする。また、音楽科の特質を踏まえた言語活動に配慮し、アルトリコーダーで実際に音を出して確かめさせるようにして、知覚と感受を往還させながら活動できるようにする。また、中間発表や相互評価の場面を設け、様々な感じ取りがあることに気付かせ、自分の作品に対する価値を広げさせ、その後の活動を効果的に進めることができるようにする。

記譜は階名とリズム呼称を用いて記録する欄と五線の両方を準備し、生徒が記譜の方法を選択できるよう工夫する。活動の流れに合わせて段階的に記入できるようなワークシートにし、学習の見通しをもたせながら主体的に取り組みせることができるようにする。支援の必要な生徒には、動機の例を示して、気に入ったものを選ばせたり、リズム・パターンのカードを掲示して、イメージに合うものを選ばせたりするなどの配慮をしたい。

##### (エ) 題材の目標

- ・民謡音階の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心をもち、音楽をつくる学習に主体的に取り組む。
- ・民謡音階の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、反復、変化、対照などの構成を工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。
- ・民謡音階の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくる。

## (カ) 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
・民謡音階の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心をもち、音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	・民謡音階の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽で表現したいイメージをもち、反復、変化、対照などの構成を工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	・民謡音階の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくっている。

## (カ) 題材の指導計画と評価計画（全2時間）

時	◇ねらい ○学習内容 ・学習活動	◆評価規準	評価方法
第1時	◇民謡音階の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心をもち、音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組む。		
	○ラドレで構成される音楽の特徴を知覚し、その特徴が生み出す雰囲気を感じ取る。 ・「まんが日本昔ばなし」の動画の一部分を視聴し、聴き取ったことや感じ取ったことを発表する。 ・わらべうたを聴き、どのような感じがするかを話し合う。 ○民謡音階の構成音を使って、簡単な旋律をつくる。 ・教師が提示した3音（ラドレ）を用いて、動機となる短い旋律をつくる。 ・つくった旋律を発表し合う。 ・反復、変化、対照などを用いている作品を見ながら、音楽の構成原理についての理解を深める。	◆民謡音階の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心をもち、音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。【関】	・観察 ・ワークシート
第2時	◇民謡音階の特徴を知覚・感受しながら、反復、変化、対照などの構成を工夫し、音楽表現をするために必要な技能を身に付けて、表現したいイメージにふさわしい音楽をつくる。		
	○アルトリコーダーで、リズム奏や、民謡音階を用いた旋律を即興的に演奏し、リレー奏をする。 ○表現したいイメージにふさわしい旋律をつくる。 ・どんな場面かを話し合い、ワークシートに記入する。 ・「まんが日本昔ばなし」の登場人物のイメージに合う動機をつくる。 ・グループで発表し合い、意見を交流する。 ○民謡音階の特徴を生かし、構成などを工夫してまとまりのある音楽をつくる。 ・旋律やリズムを工夫したり、構成を工夫したりして、まとまりのある音楽にする。	◆民謡音階の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽で表現したいイメージをもち、反復、変化、対照などの構成を工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。【創】	・ワークシート ・作品

	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のつくった音楽の創作表現についての思いや意図をワークシートに記入する。</li> <li>○学級で発表し合い、意見を交流する。</li> <li>○活動の振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆民謡音階の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくっている。 【技】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品</li> <li>・観察</li> </ul>
--	---	--	--

イ 授業の様子

第1時（1／2）

(ア) 本時の目標

民謡音階の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組む。

(イ) 本時の展開

	学習活動	教師の指導・支援の実際	評価等
導 入	1 「まんが日本昔ばなし」の動画の一部を視聴して、聴き取ったことや感じ取ったことを発表する。 2 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>知覚したこと、感受したことをペアで話し合わせ、発表させた。</li> <li>生徒の発言の中から、音階、構成に関するものを取り上げて、板書して整理した。</li> </ul>	
日本らしい旋律をつくってみよう！			
展 開	3 民謡音階でつくられている民謡を聴き、どのような感じがするかを話し合う。  4 民謡音階の構成音を用いて、簡単な旋律をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「あんたがたどこさ」を聴き、特に音階に関する気付きを取り上げ、どんな感じがするかを自由に発言させた。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         生徒の反応                         <ul style="list-style-type: none"> <li>同じ音が何度も出てくる。</li> <li>音が跳んでいる。</li> <li>問いと答えになっている。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師がリコーダーで「ひらいたひらいた」を演奏し、民謡音階でつくられているわらべうたの特徴に気付かせた。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         生徒の反応                         <ul style="list-style-type: none"> <li>同じ音が何度も出てくる。</li> <li>「あんたがたどこさ」と同じ音。</li> <li>いくつかの音で演奏されている。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>民謡音階を確認した。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>民謡音階</p> <p>ラ ド レ ミ ソ ラ</p> </div>	

 <p>できた旋律をペアで交流</p>	<p>構成原理の知覚・感受</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラドレの中から音を選び、リズムに旋律を付けさせた。＜活動1＞</li> <li>・できた旋律をペアで交流させた。</li> <li>・動機の旋律（ラドレ）を提示し、4小節の短い旋律をつくるよう説明した。＜活動2＞</li> </ul>	<p>◆民謡音階の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心をもち、音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関】</p>
<p>5 つくった旋律を発表し合う。</p>	<p>音楽科の言語活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで交流させ、意見を交換させた。</li> <li>・反復、変化、対照などを用いている生徒作品を取り上げ、音楽の構成原理についての理解を深めさせた。</li> </ul>	<p>＜観察、ワークシート＞</p>
<p>構成原理の知覚・感受</p>	<p>構成原理の知覚・感受</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「チューリップ」の楽譜を電子黒板に提示し、旋律を歌わせながら反復、変化、対照などの音楽の構成原理について説明した。</li> </ul>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p><b>おおむね満足（B）と判断する目安</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民謡音階の特徴や構成をどのように工夫したいかについて話したり音楽で表したりしている。</li> </ul> <p>＜Cへの支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムカードからイメージに合うものを選ばせ、ラドレを当てはめさせる。</li> </ul> </div>
<p>まとめ</p>	<p>6 本時のまとめと次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は、「まんが日本むかし話」のある場面を見て、音楽をつくることを伝えた。</li> </ul>	

第2時（2/2）

(ア) 本時の目標

民謡音階の特徴を知覚・感受しながら、反復、変化、対照などの構成を工夫し、音楽表現をするために必要な技能を身に付けて、表現したいイメージにふさわしい音楽をつくる。

(イ) 本時の展開

	学習活動	教師の指導・支援の実際	評価等
<p>導入</p>	<p>1 民謡音階を用いて旋律を即興的に演奏し、リレー奏を楽しむ。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルトリコーダーを用いて、リズム奏をさせた。</li> <li>・アルトリコーダーを用いて、民謡音階を用いた旋律を即興的に演奏させ、リレー奏をさせた。</li> </ul>	<p>リズムを電子黒板に提示しリズム奏</p> 
<p>展開</p>	<p>3 表現したいイメージにふさわしい旋律をつくる。</p>	<p>昔ばなしの場面に合わせて音楽をつくらう</p>	

<p>展 開</p>	<p>(1) どんな場面かを話し合い、ワークシートに記入する。</p> <p>(2) 創作の手順とポイントを確認し、活動の見通しをもつ。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まんが日本昔ばなし」のある場面の絵（登場人物2人）を見せ、様子を想像させた。</li> <li>・ペアで話し合い、ワークシートに記入させた。</li> <li>・創作の手順を示した。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>創作の手順</p> <p>① 大蔵のテーマ（動機）、天狗どんのテーマ（動機）をつくる。 （音は、ラドレを使う。使える人はミソラも使ってよい。）</p> <p>② 想像した場面に合わせて2人の音楽をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動機を繰り返したり（反復）、変化させたり、動機と異なる対照的な旋律を入れたりして、工夫する。</li> <li>・「何回反復させたらイメージ通りになるか」など考えて、話し合いながら工夫する。</li> <li>・旋律は、「問いと答え」のようにしたり、重ねたり、いろいろな工夫をする。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーで吹き試しながらつくることがポイントであることを伝えた。</li> </ul>	<p>場面絵（「大蔵と天狗どん」の絵）</p>  <p>◆民謡音階の特徴、構成を生かし、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p style="text-align: right;">【創】</p> <p>&lt;ワークシートの記述、作品&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>おおむね満足（B）と判断する目安</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民謡音階の特徴や反復、変化、対照などの構成をどのように工夫するかか思いや意図をワークシートに書いている。</li> </ul> <p>&lt;Cへの支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・反復、変化、対照によって音楽がどのような雰囲気になるかを感じ取るように伝え、工夫を促し、イメージに合う音楽となるように考えさせる。</li> </ul> </div>
	<p>(3) 「まんが日本昔ばなし」の登場人物に合う動機をつくる。</p> <p>4 民謡音階の特徴を生かし、構成などを工夫してまとまりのある音楽をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物（2人）をペアで分担して登場人物の動機をつくらせた。</li> </ul> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動機を用いて、構成を工夫し、まとまりのある音楽にするように指示した。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想像した場面に合うように話し合いながら音楽をつくらせた。</li> <li>・アルトリコーダーを用いて音を出して、試しながらつくるように指示した。</li> </ul> </div>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>構成原理の知覚・感受</b></p> </div> <p>◆民謡音階の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくっている。</p> <p style="text-align: right;">【技】</p> <p>&lt;作品、観察&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>おおむね満足（B）と判断する目安</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民謡音階の特徴、反復、変化、対照などを取り入れた音の組合せでつくっていることが作品に表れている。</li> </ul> <p>&lt;Cへの支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の見や記述を参考にさせる。</li> </ul> </div>
	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>音楽科の言語活動</b></p> </div> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫したところ、作品への思いを記述させた。</li> </ul>	
	<p>5 学級で発表し合い、意見を交流する。</p>	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を聴き、作品のよいところや工夫したところに気付かせた。</li> <li>・相互発表によっていろいろな感じ取りがあることに気付かせた。</li> </ul> </div>	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>音楽科の言語活動</b></p> </div>

まとめ	6 活動の振り返りを する。	・ワークシートに記入させ、学習を振り返らせた。	
-----	-------------------	-------------------------	--